

**対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力
「リトル・ベイ公立小学校通学バス整備計画」
引渡式**

教育は未来を救います。

2025年3月17日、ウエストモアランド県のリトルベイ公立小学校において、対ジャマイカ草の根・人間の安全保障無償資金協力「リトル・ベイ公立小学校通学バス整備計画」の引渡式が開催され、同校に通学バス1台が供与されました。

渥美大使は、挨拶の中で、我が国の政府開発援助（ODA）では人間はどこで生まれ育ったかに関わらず健康で尊厳ある充実した生活を送ることができその能力を最大限発揮させることができるという「人間の安全保障」の考え方に基づく支援を行っていると述べました。

そして、ジャマイカと共に初等・中等教育システムをさらに強化することを希望し、日本とジャマイカのパートナーシップを築いていきたいとの意を示しました。

ウエストモアランド県に位置するリトル・ベイ公立小学校では、生徒が交通の安全性や経済的状況に課題を抱えており、通学環境の改善が急務です。本件事業によって同校に新しい通学バスを供与することで、児童たちが安全に通学し、能力や才能を促進すべく学習機会の確保に寄与します。

今般の引渡式には、テリアン・トーマス・ゲール教育・青年省主任教育官、ガーフィールド・ジェームス リトル・ベイ地域代表県議会議員、ヒバート リトル・ベイ公立小学校理事長、キング同校校長、教師、生徒、国家教育基金関係者、報道機関関係者などが出席しました。



本支援の意義を述べる渥美大使



挨拶をするテリアン・トーマス・ゲール
教育・青年省主任教育官



踊りで日本への感謝を披露したリトル・ベイ公立小学校の生徒たち



日本の支援に感謝を述べるハイダ・ヒバート同校理事長



供与されたバスの鍵の引渡し



挨拶をするガーフィールド・ジェームス
リトル・ベイ地域議員